

あなたとぎかい



…… 市政へ提言! ……

中学生議会

CONTENTS

こんなことが決まりました…………… P2
議案および採決結果…………… P3
ココがききたいQ&A 13人が質問しました…………… P4~P16
意見書/陳情審査報告…………… P17
活動レポート…………… P18~P19
シリーズ『匠』/お知らせ…………… P20

議会ライブ中継録画映像
スマホでも本会議の動画が視聴できます▶



12月

定例会

こんなことが
決まりました!

審議結果

令和5年12月定例会を11月28日から12月15日までの18日間にわたり開催しました。12月11日には、総務政策常任委員会、福祉教育常任委員会、12月12日には、生活経済建設常任委員会を開催し、補正予算をはじめ条例の一部改正など、付託された議案を審議しました。審議の一部をご紹介します。

■ 審議された議案等 計 **16** 件 市長提出議案 … **14** 件 議員発議案 … **1** 件
陳情 … **1** 件

PICK UP **1**

議案第7号 工事請負契約の締結について(香取市役所本庁舎空調設備(熱源)改修工事)

総務政策 市役所本庁舎空調設備改修に伴う 工事請負契約を締結



市役所本庁舎

Q 工事の内容は。

A 老朽化した既存の冷熱・温熱の供給源となる設備を撤去し、新たな空調設備を設置するものです。

PICK UP **2**

議案第3号 香取市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

福祉教育 竟成小学校内の児童クラブ設置に伴う 所要の改正



放課後児童クラブが設置される竟成小学校

Q 竟成児童クラブ設置の経緯は。

A 現在、竟成小学校の児童は、わらびが丘小学校の児童クラブにバスで送致し保育を実施しています。5月に竟成小学校のPTA役員から竟成小学校内の児童クラブ設置について要望がありました。市の児童クラブの新設条件は、管理運営等の関係上、20人以上の利用者が適当であるため、来年度からの利用希望者についてPTAがアンケートを実施したところ、22人の利用希望がありました。この結果を受け、令和6年度からの開設を目指し、竟成小学校の空き教室に児童クラブを設置するものです。

PICK UP **3**

議案第5号 香取市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

生活経済建設 入居の資格要件等の見直しに伴う 所要の改正



市営住宅粉名口団地

Q 条例中「第6条第4号の現に市税等を滞納していないこと。ただし、市長が認めるときは、この限りでない」とあるが、市長が認めるときとはどのようなときか。

A 公平性の観点から市税等に滞納がないことを原則としますが、住宅に困窮する低額所得者に住宅を供給する公営住宅法の趣旨に則り、災害等のやむを得ない理由により滞納に至った場合や早期に完納の見込みがあることが明らかの場合等を想定しています。

12月定例会

議案および採決結果概要

議案名等	議員名等	審議結果	前田誠之	加藤裕太	井上徹	藤木裕士	成毛伸吉	辻達広	内山勝己	木村博	根本義郎	佐藤好文	久保木清司	平野和伯	奥村雅昭	田代一男	鈴木聖二	高木寛	伊能敏雄	久保木宗一	田山一夫	坂部勝義	河野節子	根本太左衛門	
			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号 (総務政策)	令和5年度香取市一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号 (総務政策)	香取市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号 (福祉教育)	香取市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号 (総務政策)	香取市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号 (生活経済建設)	香取市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号 (福祉教育)	香取市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号 (総務政策)	工事請負契約の締結について(香取市役所本庁舎空調設備(熱源)改修工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号 (総務政策)	専決処分の承認を求めることについて(専決処分第6号 令和5年度香取市一般会計補正予算(第7号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号 (生活経済建設)	専決処分の承認を求めることについて(専決処分第7号 令和5年度香取市太陽光発電事業特別会計補正予算(第3号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	令和5年度香取市一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和5年度香取市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和5年度香取市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	香取市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	香取市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第3号 (生活経済建設)	「特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改正」を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案第1号	特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改正を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 議長(平野和伯議員)は、採決に加わりません。議案番号下の()は、審査を付託した委員会名です。 ○:賛成 ×:反対

義務教育以後の 進路を決める重要問題

Q 市の奨学金制度利用者数と総額は。

A 令和2年度から令和5年度4年間の貸付人数は延べ26人、貸付総額は936万円です。令和5年度は新規貸付が5人、貸付額は合計で180万円です。

Q 卒業後、地元へ戻り就職など一定の条件の下、奨学金返済義務を免除できないか。

A 返済免除は、対象者1人の経費も高額となり、財源確保が課題です。移住・定住施策の一環とされる学生への奨学金返還支援制度の推進は、今後調査研究します。

意見 過疎化の進む香取市、定住策の一環として返済せずとも、その費用効果は高い筈だ。

Q 市内から進学できる高校の範囲は。

A 公立高校は、全日制普通科に限り志願できる範囲を定める学区制があり、香取市は香取海浜地区、印旛地区と山武地区が

範囲となり、22校への志願が可能です。

Q 進学先へ円滑に行ける新たな交通システムの構築はできないか。

A 現在策定中の地域公共交通計画では、市内、市外への移動しやすさの向上を目標にしています。今後の路線再編の際は、利用者の生活実態を考慮し、周辺市町との接続の向上など学生の通学にも配慮します。

意見 循環バスは、これまでの考え方を考え、行政区を越えて経済圏を結ぶ構想が必要だ。

与田浦、魚の酸欠死、 外来抽水植物繁茂

Q 今夏、与田浦の魚が大量死し異臭が発生した。住民は堪え難い臭いに悩まされた。河川管理者の対応と対策は。

A 河川管理者の千葉県がへい死魚の回収を進めています。また、新左衛門川では、香取市がへい死魚の回収をしています。



いのうとしお
伊能 敏雄 議員

Q 各所で繁茂するナガエツルノゲイトウに河川が浸食されている。河川管理者の現在の対策と今後の方策は。

A 駆除は水辺のため危険が伴い、駆除後の処理も手間と時間がかかり、地元や関係団体などの作業は難しい現状です。千葉県が管理している河川とつながる香取市の河川は、千葉県と情報共有し情勢の回復を目指すとともに、その他の水路も各関係団体と連携をとり対応します。



ナガエツルノゲイトウ繁茂場所

意見 この環境汚染問題に国県としっかり連携を図ってほしい。

観光地としてイメージは大事

Q 佐原地区の駐車場混雑時対策と今後の施策は。

A 佐原中心部は一方通行の道路が多い上、中小の駐車場が分散していることが渋滞発生の原因の一つで、駐車場問題を含め移動の利便性向上が課題です。町並み観光駐車場にて繁忙時の職員増員、マニュアル整備、他駐車場への案内などで観光客の利便性を向上させます。

ココがききたいQ&A

13人の議員が一般質問

子宮頸がん撲滅に向けた 取り組みを

Q 令和6年度末まで3年間の期限措置であるHPVワクチンのキャッチアップ接種対象者の対象者数と接種率は。

A キャッチアップ接種対象者は、積極的な勧奨の差し控えにより接種の機会を

逃した平成9年度から平成17年度生まれの女性ですが、人数は令和5年10月1日現在、2343人です。このうち、HPVワクチンの3回接種完了者は629人、接種率は26.8%です。



HPVワクチンの接種

Q キャッチアップ期間内に未接種者全員に個別通知などを行い確実に周知していただきたいが、見解は。



たしろ かずお
田代 一男 議員

A 令和6年度も未接種者に対し個別通知を行うとともに、市広報、ホームページやSNSなどでも周知を図ります。

予防接種の再接種費用に助成を

Q 小児がんで骨髄移植などを受け、減衰した免疫獲得のためのワクチン再接種費用の総額はいくらか。

A 医療機関が接種するワクチンの種類によつて単価は異なりますが、定期接種を自費で接種する場合、市が委託契約している定期接種委託料を基に計算すると、総額で29万円から33万円程度とされます。

Q 小児がんの治療にかかる費用に加えて、ワクチン再接種費用で保護者の経済的負担は大きい。市においても再接種費用の助成ができないか。

A 令和5年度から県が再接種費用を助成する市町村に対し、助成額の一部を補

助する制度を新設しました。市も制度を活用するなど、再接種費用の助成について検討します。

認知症施策の充実を

Q 今年6月に成立した「認知症基本法の根本理念である「共生社会」の実現に向けた今後の取り組みは何か。

A 現在、実施している取り組みは、認知症の当事者や家族が集える場としての認知症力フェの開催、認知症サポーター養成講座の開催など各種事業です。また、認知症を支援する事業所などと連携し、今後の支援体制を検討するなどしています。

Q 金銭管理能力が低下した認知症高齢者に対する支援策をどのように考えているか。

A 認知症などで金銭管理などが困難な場合、成年後見制度の利用を勧め、利用者も増えている状況です。この制度は法律、福祉の専門家および法人等の代理人が金銭管理など各種手続き等を代行して行う制度です。今後、このようなケースが増えることが想定されることから、周知等に努めます。

学校給食無償化の実施は

Q 全国的に見ても無償化を求める声が大きくなって進んでいます。近隣でも多古町、

神崎町、東庄町など実施されています。香取市として実施時期を含めどう検討されてきたか、食材の供給で地元産の利用状況はどうなっているか。

A 令和5年1月から小学6年生、中学3年生および県補助事業の活用による第3子以降を対象に無償化を実施しました。完全無償化の実施は、令和5年度の子供生徒数を基にすると、年間約2億2600万円が必要なため、現時点で実施までの期間の回答は困難です。全体的な施策として、どのような財源から支出できるか、しっかりと考えます。学校給食の食材は、食育を推進する国県の取り組みのもと、可能な限り県内の地元産を使用しています。米は全て香取市産コシヒカリを使用、野菜は香取市産が約30%、千葉県産が約30%です。

Q 産婦人科の開業について、この数年間、香取市では産婦人科がない状況が続いています。住民からは早い開業を求める声

あります。開業の見通しと遅れた事情は何があったのか。

A 令和3年12月に協定を締結しましたが、当初の想定は令和5年開設の予定でした。開業が遅れた要因は、事業費が昨今の建設費高騰により大幅に上回り、設計を見直しているため、設計時期が遅れが生じたものです。今後も開設事業者と連絡を密にし、早期開院に向け調整します。



さとう よしふみ
佐藤 好文 議員



産婦人科施設開設予定地

市の農業経営と後継者対策は

Q 国の農政を見ると農産物の輸入と農家への低すぎる価格補償や水田活用交付金の削減など経営が厳しい状況であり香取市においても同様です。農業従事者と後継者の現況を市としてどのような対応をされてきたか。

A 令和2年の農業従事者は総数3305人で、60歳以上が約8割を占めます。また、平成27年の農家数3339件のうち、後継者なしが約5割、令和2年の農家数2650件のうち約8割が後継者なしとの調査結果があります。農業後継者対策に係る助成制度は、市単独事業として市内在住40歳以下で県主催の経営体育成セミナーの修了者を対象に助成金を交付します。また、国県の事業として、認定新規就農者に対し、3700万円を上限に無利子で借入れが可能となる青年等就農資金、初期投資に係る費用として上限1000万円を支援する経営発展支援事業補助金などがあります。

災害弱者への避難支援体制・ 市民負担の平等性



くぼきせいじ
久保木 清司 議員

大規模災害時、 災害弱者への支援体制は

Q 香取市地域防災計画に記載されている要配慮者の安全確保対策の内容は。

A 香取市地域防災計画では、災害発生時に自ら避難することが困難で支援を要する人を避難行動要支援者とし、市は把握に努め、災害時に迅速な対応が取れるよう備えます。避難行動要支援者の同意を得たものは、避難を支援する関係者へ事前に住所、氏名などの名簿情報を提供し、避難行動要支援者の個別避難計画の策定に努めます。

Q 要配慮者の内、確認できている避難行動要支援者は何名か。

A 要介護3以上の高齢者等947人、A判定以上の知的障害者189人、2級以上の精神障害者136人です。

Q 福祉避難所に入所できる条件は。また、福祉避難所はどこにどれだけあるのか。

A 避難基準は、人工呼吸器等を使用するなど特別な配慮が必要で、一般の避難所では生活に支障を来す人が対象です。現在市内の福祉施設事業所20施設と協定を締結しています。また、令和2年度から既存の公共施設を福祉避難所として、1カ所整備しております。

Q 福祉避難所の市全体での収容人員は。また対応可能と言えるか。

A 21施設の合計受入可能人数は200人ですが、施設入居者および利用者もあり、開設は状況により受入可能な範囲となります。また、避難行動要支援者名簿の登録人数などから十分な収容枠を確保できないことも想定され、可能な限り取り組みます。

意見 市内には、指定避難所へ避難する事の難しい人が多数います。この事から福祉避難所の拡充をお願いしたい。

市民負担の平等性

Q 防犯灯は市民の要望で設置し、使用で発生した電気代・修繕・移設はどこが負担か。

A 国道、県道、市道1級および2級に設置されたものは、市が維持管理し、電気料金を含む経費を負担します。その他の設置場所の維持管理は、自治会等の負担です。自治会等管理の防犯灯修繕や移設も、自治会等の負担です。



防犯灯で暗い夜道を照らします

Q 市の全世帯数と自治会加入世帯数は。また、その比率は。

A 令和5年4月1日現在、住民基本台帳世帯数は3万1178世帯です。自治会加入世帯数は、各自治会から報告で2万2500世帯、加入率は約72.17%です。

Q 市民負担の不等から防犯灯の電気料金を市で負担できないか。

A 令和5年3月末現在、防犯灯が8624灯で、内訳は市管理2575灯、自治会管理6049灯です。市で負担した場合、約1300万円が必要で、負担することは現時点では難しいと考えます。

子ども食堂と香取市の 更なる連携を



まえだ まさゆき
前田 誠之 議員

Q 市内の子ども食堂とはどのように連携しているのか。

A 市は、それぞれの子ども食堂の活動状況や運営方法など、情報交換の場を提供しています。

Q かとりフードパントリーとはどのように連携していく予定か。

A 子ども食堂の運営団体は、かとりフードパントリーや民間団体が運営するフードドライブ等との連携を図るため、香取市子ども食堂等担当者連絡会を開催しています。

Q これから子ども食堂を始めたい団体や個人への開設の支援はどのように考えているのか。

A 市は、開設の相談、情報提供を行います。

Q 子ども食堂や苦しい状況にある子どもへの応援メッセージを伊藤市長からいただきたい。

A 地域住民と世代を超えて交流できる場として、子ども食堂は子どもたちの貴重な居場所であると考えます。今後も、全ての人が笑顔になれる子ども食堂の運営をサポートしたいと思います。

認知症になっても 安心できる香取市を

Q 地域で認知症を包摂する地域づくりが重要だと考えるが認識は。

A 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、認知症高齢者に対する事業の充実を図り、地域で支える仕組みづくりを推進していくことが必要であると認識しています。

Q 市内で現在の認知症の早期発見の政策はどのようなものがあるか。

A 早期発見を目的として実施している香取市徘徊高齢者等見守りシール交付事業などがあります。

Q 認知症理解促進のために各学校に認知症の理解を深める講座が必要ではないか。

A 認知症の理解を深め、地域の中で支援者として活躍していただけるよう認知症サポーター養成講座を市内小中学校や高等学校で開催しています。

Q 9月のアルツハイマー月間のPRなど、コンパスで行ったように周知のための広報が必要。介護予防も含めてより広報に力を入れるべきではないか。

A 今後も、民間事業所等関係機関と協力しながら周知活動に力を入れていきます。

Q 伊藤市長の認知症対策への思いを伺いたい。

A 当事者の方が住み慣れた地域で生活を続けられるような香取市をつくりたいと考えます。国が目指す共生社会の実現を推進する施策を見極めながら、現在行っている認知症施策をさらに充実していきます。

黒部川の環境整備を



黒部川の光景

Q 現在、黒部川の新田橋から大橋付近まで外来種の水草が繁茂している。黒部川は一級河川、県の管理となるが外来種の水草に対し、市で何かできることはないのか。

A 県管理の河川であるため、市として水草を駆除することは難しいと考えますが、支流となる市管理の河川や水路などでも繁茂の状況が確認されていることから、県との情報共有を図り、連携した水草の駆除を行い河川の状況回復を図ります。

Q 黒部川の土砂に対する、県への要望の内容は。

A 市として、知事と市長村長との意見交換会や香取土木事務所との調整会議等において、県へ堆積土のしゅんせつ要望を行っています。今後、大規模な事業として取り組んでいただく内容で要望してまいります。



ふじき ひろのり
藤木 裕士 議員

全国レガッタの誘致

Q 誘致にあたり、より一層水上スポーツを盛り上げる必要があると思うが、市の考えは。

A 黒部川では、香取市民レガッタに代表されるローイングやカヌーなどの水上スポーツが盛んであり、年間を通じて各種クラブが活動を行っています。水上スポーツに適した環境をPR動画などにより全国に発信するとともに、各種大会の開催をはじめ、競技人口の拡大や競技団体の合宿の誘致に向け、必要な環境整備など今後も積極的に推進します。

Q 香取市民レガッタと同時開催イベント（黒部水際BOAT SESSION）を始めたいきっかけは。

A イベントは、水上スポーツの振興、子ども向けボート教室、クラブチーム設立に向けイベントを通じてボートに興味を持ってもらい、5年後以降の全国大会誘致を目指す企画に賛同した有志の皆さんが開催したものです。

Q 全国大会を成功させるには、黒部水際BOAT SESSION（市民ボラティア）の関係者も大会に係っていく必要があると考える。大会に自費随行の要望がある。市の対応は。

A 全国市町村交流レガッタの出場クルーの随行は、慣例として参加市町村の職員が行っています。職員以外のレガッタ関係者が開催状況を視察することは、香取市大会の成功に寄与するものと考えられ、多くの方々が実際の会場に足を運べるよう考慮します。

消防署小見川分署の 建設工事は 令和7年秋に完成

Q 小見川分署は近年老朽化が著しく、私は歴代の香取市長や消防本部消防長等に市議会一般質問などで何度となく要望して来た。それゆえ、この建設決定は我事のように嬉しい。その概要は。

A 庁舎建替は香取広域市町村圏事務組合消防本部で進めています。小見川支所南東側の市有地を建設場所とし、敷地面積3589.83㎡、建物延べ面積1276.51㎡、鉄鋼造2階建です。建設総事業費は10億4962万2000円、令和5年度から7年度までの3カ年の継続事業で、配置人員は、分署長以下33名の予定です。



老朽化による建て替えを行う小見川分署



たかぎ ひろし
高木 寛 議員

Q やはり老朽化した山田分遣所の今後の建設予定は。

A 香取広域市町村圏事務組合消防本部に確認したところ、現在、建設計画はありませんが、今後、諸事情を勘案した上で適切な時期に市と協議したいとの考えです。

たちばなふれあいパークフェス 2023の概要は

Q 去る11月3日から5日に開催されたこのイベントは大盛況であった。その部門別集客人員と効果及び今後の対応は。

A 延べ人数は約5600人で、パークゴルフ場517人、テラス・サンサンで開催のJAL体験プログラム254人、キャンプ場宿泊者328人、水辺エリアのカヌーおよび足漕ぎボート542人、里山エリアのオリエンテーリング33人、多目的広場のマルシェ約3800人でした。多くのお客様に会場いただき、認知度および魅力の向上につながったと考えます。引き続き指定管理者と連

携協力しいイベントなどで魅力を高め、情報発信によりさらなる誘客を図ります。

意見 平素、パークゴルフ場は入場者が非常に少ないが、この様に無料にするか安くすれば大勢の人が集まる。利用料金の半日券の導入を伊藤市長に強く望む。

小見川野田地先での 水稲農業後継者への助成は

Q 野田地先は、ほとんどが都市計画法の用途地域で、農業振興地域外である。この地域での新規水稲農業後継者への各種農業助成金の交付は可能か。

A 助成事業は年齢など一定の要件を満たす必要がありますが、地域の制限はなく都市計画の用途地域内の農地を耕作する新規就農者でも助成を受けることは可能です。

Q 野田地先での農地中間管理機構を活用しての農地の賃貸は可能か。

A 令和2年に関係法令が改正され、現在は都市計画の用途地域内での活用も可能です。

香取市に 新たな文化芸術の興隆策を



つじ たつひろ
辻 達広 議員

Q 合併前の市町が推し進めてきた文化興隆や伝統文化等の保存・伝承に係る施策などをふまえ、市における文化芸術に関する施策の現状はどうなっているのか。また今年度開催の文化芸術行事への参加人数、集客数は。

A 学習講座・教室をコンパス、いぶき館、山田公民館、さつき館で開催するほか、成果や活動発表の場として4会場で市民文化祭、いぶき館で生涯学習フェスティバル、山田公民館でサマーコンサート、クリスマスコンサートを開催しています。実績は令和4年12月のクリスマスコンサート209人、令和5年2月の生涯学習フェスティバル453人、同7月のサマーコンサート205人です。さらに優れた



生涯学習フェスティバル(令和5年2月12日 いぶき館)

舞台芸術や芸術作品鑑賞のため、佐原文化会館で文化芸術鑑賞事業を実施しています。

Q 複合公共施設コンパスが1年前にオープンし、中央公民館から移動した各種文化団体が受けていた減免制度について、この制度が現在のコンパスでは適用されないことと、今まで中央公民館を使用していた団体は困惑しているが、市の見解は。

A コンパスは教育委員会の所管施設ではないため、減免に教育委員会要綱の適用はされず、指定管理者が申請内容から審査しています。

Q 財政面から全国的に文化芸術専門の施設は減っている状況だが、市の施設は、多目的ホール、劇場、音楽ホール、どれに分類されると認識しているのか。

A 音楽発表などで利用される公共施設は、いずれも音楽会や演劇会等の特化施設ではなく、講演会や各種行事など市民の皆さんに幅広く利用していただく多目的ホールです。

専門家を招聘した 芸術監督・音楽監督の委嘱を

Q 文化芸術行事の企画、立案はどの様なプロセスで行われるのか。企画立案時に芸術分野に詳しい専門家、エキスパートは参加しているか。

A 限られた予算・人員の中、国県などの補助金活用事業を優先に企画立案しています。芸術分野に特化した人員はいませんが、他の自治体事例や市民ニーズなどを調査研究し事業計画から実施まで対応しています。

意見 行政機構の関係上、組織編成を越えたプロジェクトチームを組むことが難しいのであれば、文化・芸術部門の専門家を招聘し、芸術監督・音楽監督を委嘱することで香取市に一流の舞台芸術を紹介できるようにしていただきたいと要望します。

Q 郷土出身者には文化芸術分野で活躍される方がいるが、そのような方々の顕彰はされているか。また、予定はあるのか。

A 教育委員会表彰として毎年、教育・文化・スポーツの分野で優秀な成績を修めた個人、団体を表彰しています。

子どもを産みやすく、
育てやすいまちづくりを



かとう ゆうた
加藤 裕太 議員

Q 結婚新生活支援事業について、以前の事業と違うところは。

A 世帯所得制限が340万円未満から500万円未満へ変更になりました。補助金額は上限が1世帯当たり24万円から夫婦とも39歳以下の場合30万円に、夫婦とも29歳以下の場合60万円へ増額されました。

Q 不妊治療費の保険適用拡大後、市独自の助成制度の状況は。

A 経済的負担の軽減を目的として保険診療適用外の検査および治療費の自己負担の7割相当額分、年間30万円を限度額に2年間助成しています。

Q 佐原グレイスこども園の来年度園児募集の応募状況は。

A 令和5年11月30日時点で、在園児童で令和6年度継続入所希望児童



令和5年10月30日に新園舎が開園となった佐原グレイスこども園

は106人、新規入所希望児童は47人、他園からの異動希望児童は9人です。

スマート農業導入のための環境整備を

Q 市内ではどういったところでスマート農業を活用できると考えるか。

A 農地を集約しやすい大規模稲作農家が自動水管理システムや自動運転のスマート農業機械の導入により、作業の負担軽減や生産性が向上すると考えます。

Q スマート農業への補助や環境整備について、市の考えは。

A 農業者が導入効果や必要コストについて十分な情報を得られる環境づくりが重要です。経営に合ったスマート農業を導入できるように関連技術等の情報発信とともに、農業普及員の指導の下、国県と連携しながらスマート農業機械、圃場整備など総合的な支援も重要です。

オープン1周年を迎えるコンパスの活用を

Q これまでの来館者数の推移は。

A 令和4年12月25日のオープンから令和5年10月末までの合計は約48万6000人で、月平均約4万8000人です。最多は佐原の大祭秋祭りが開催された10月で7万1055人、最少は1月の3万9444人です。

Q 公民館の時と利用する人や団体に変化はあるのか。

A コロナ禍前の平成27年度から平成29年度の旧佐原中央公民館の月平均利用者は約5800人、団体数は約290団体です。コンパス貸出施設の月平均利用者数は約7800人、団体数は約440団体で、個人、団体数とも増加し、学生の学習利用や民間企業の利活用が多く見られるようになりました。

意見 子どもに関する施策については、何かひとつだけ行えばいい、ということはない。色々な施策を思い切って行い、香取市は子どもを産みやすく、育てやすく、暮らしやすいまちだなと思ってもらえるようにしていきたい。

地域計画策定に向けて、 将来の香取市、農業の行方は

香取市の農業政策は

Q 本年4月1日から、人・農地プランが地域計画になぜ見直されたのか。

A 国は人・農地プランの作成を法定化し、地域計画と名称を変え令和5年4月からスタートしました。これを受け市町村も令和6年度末までの2年間で地域計画を策定します。

Q 市の農業の現状は。

A 平成17年の4910経営体に対し令和2年は2650経営体数で、約46%の減少です。

Q 地域計画の策定までの流れは。

A 市を地域割した25地域で協議を行い、10年先の耕作者を定める農地一筆ごとの利用を示した目標地図を作成し、その後、

計画案の説明会、意見聴取、公告縦覧の順に計画策定が公表されます。



うちやま かつみ
内山 勝己 議員

Q 地域計画の策定とその実行事例は。

A 7地域で協議しており、多くは人農地プランが策定済の地域です。なお、小見川新田地域の一ノ分目新田地区は県のモデル地区として、いち早く取り組んでいます。

さつまいも生産拡大緊急支援 プロジェクト事業とは

Q 香取市さつまいも産地強化推進協議会、会長である、伊藤市長の政策方針は。

A 市は、全国有数の産地であり、全国トップクラスの品質と味を誇り、海外輸出を含め市場で高評価を受けています。香取市さつまいも産地強化推進協議会を設置し、大規模農家の育成と国内外の需要に対応できる供給体制の構築など県と連携しながら産地強化に取り組んでいます。

Q さつまいも生産・流通体制の強化に必要な支援を

A 令和5年度から県は生産拡大緊急プロジェクト事業を開始し、生産流通体制強化に必要な貯蔵庫の整備等を支援しており、市独自に事業費の10%上乘せ補助も実施しています。

Q さつまいも生産農家の現状と課題は。

A 現在、生産者の貯蔵庫不足から安定した市場への供給低迷や品質低下による産地ブランドの低下が課題です。

遊休農地解消緊急対策事業とは

Q 本年度の耕作放棄地調査結果と今後の耕作放棄地解消に向けた取り組みは。

A 直近の耕作放棄地調査結果ですが、水田が362.8ha、畑が191.6ha、全体では555.4haとなっております。これは、前年対比1.0haの増加になります。耕作放棄地解消に向けての取り組みですが、苦情があつた場合、地区担当の農業委員、農地利用最適化推進委員と情報共有しながら、農地所有対象者に対し草刈りを行い適正に管理するよう文書でお願いしています。

次年度こそ全ての子どもに 学校給食費の完全無償化を

給食費完全無償化の財源は
十分確保されている

Q 財政調整基金の残高は70億円近く、公
共施設整備基金は14億円、減債基金は
25億円で、市が自由に使える基金は107億
円程度か。

A 令和5年9月策定の中長期財政推計の
令和5年度末数値は、そのとおりです。

Q 5年前の財政推計において、現在の財
調基金残高の見込額と今年度の実際の
残高との誤差はどうか。

A 平成30年度に策定した中長期財政推計
では、令和4年度末の財政調整基金残
高を約54億円と推計していました。実際の残
高は約69億円で、5年前に策定したものとの
差は、約15億円です。

Q 減債基金は、累計25億円の積立と思わ
れるが、中長期財政推計から判断し、
100億に備えているのか。



ねもと よしろう
根本 義郎 議員

A 中長期財政推計では、公債費の償還ピ
ークは令和9年度、50億円程度と見込
んでおり、今後には備え減債基金へ積立してい
ます。また、財政状況により減債基金を取り
崩し公債費に充てることも考慮して財政運営
していきます。

带状疱疹予防ワクチン接種に 対する市の助成制度の導入を要望

Q ワクチン接種の効果はどのようなもの
か、また他市の助成内容は、どうなっ
ているか。

A 接種により免疫強化を図ることが発症
予防や重症化予防に有効と期待されま
す。県内では9市町村が助成しています。全
ての市町村が50歳以上を対象とし、2回接種
の不活化ワクチンと1回接種の生ワクチンの
2種類のうち、7市町村は両方が対象で、2
市町村は不活化ワクチンのみが対象です。

Q 橋ふれあい公園パークゴルフ場のこの
1年間の利用実績は、目標値と比べてど
うであったか。

A 令和4年10月から令和5年9月までの
1年間の利用者総数は1万517人で
す。内訳は市内利
用者が7065人
で全体の67.2%、
市外利用者が34
52人で全体の
32.8%です。なお、
指定管理者による
年間集客目標約2
万人との比較では、
目標の約52.6%
に留まっています。



香取市パークゴルフ親子ペア (令和5年9月16日開催)

Q おみがわこども園の施設建設費および
一部当該土地取得費を含めた総事業費
はいくらだったのか。

A 施設建設工事費は約12億3100万円、
用地取得費は約5000万円、合計
で約12億8100万円です。

Q 令和3年度末時点(譲渡時)のおみがわ
こども園の建物の残存価格は9億48
00万円だが、未償還残高はいくらだったのか。

A 建設の起債残高は、施設譲渡時の令和
4年3月31日時点で約10億7000万
円です。

带状疱疹ワクチンに 助成金を

Q 带状疱疹ワクチン助成金の香取市および近隣市町の状況は。

A 近隣では、神崎町、東庄町、多古町の3町で助成を実施しています。助成額等は、不活化ワクチンの助成額が、神崎町、東庄町、多古町で1回当たり1万円を上限に2回まで、生ワクチンの助成額が神崎町を除き、東庄町、多古町で4000円が上限です。

Q 带状疱疹ワクチンは、インフルエンザと違い不活化ワクチンを使うと2回接種で10年間効果があり、10年に一度予防接種をすればよい。インフルエンザ予防接種と異なり財政的負担は少ない。神崎町、東庄町、多古町が一度のワクチン接種2回で、2万円補助している。近隣並みに、ぜひ市長の判断で実行を。

A 带状疱疹に対するワクチンの重要性を認識しています。啓蒙活動を含めワクチンの重要性を行政側も認識しながら、今後、予算確保に向けて頑張っていきたいと思います。

高速バスに定期券 または回数券の助成金を

Q 若い人たちが香取市に定住しながら、高速バスで東京まで通勤できるような交通費負担の軽減に定期券または回数券の助成を。

A 定住化を促進するためにも、市に住みながら都内へ通勤、通学が可能となるよう都市間交通の利便性向上を図ることは重要であると考えていますが、定期券の導入には、バス事業者の収益への影響や定期券の発行、販売方法などの課題が想定されます。他の自治体で実施している回数券の購入補助など、市民への助成も含め、現状に即した利便性向上施策を研究します。

Q 定期券は、東京に月20日間勤務すると6か月定期を買えば月2万円。月25日勤務で月4万円軽減される。定期券ではなく回数券の助成をする場合は、定期券と同じくらい負担を軽減できるように、ぜひ検討を。



くほき そういち
久保木 宗一 議員



東京八重洲まで乗り入れしている高速バス(佐原駅北口)

A 研究します。

意見 県内の一部路線では、回数券を廃止する動きが出ています。再度、定期券の検討をすべきです。

部活動の地域移行をした場合、保護者負担の軽減を

Q 地域移行した場合、活動場所や費用負担はどうなるのか。市からの支援・助成はあるのか。

A 受け皿となる地域クラブが指定する場所での活動となるため、保護者の送迎やクラブに参加するための会費など新たな負担が発生することが考えられます。クラブ指導者の報酬など運営にかかる費用は、原則保護者負担となる方針ですが、保護者負担の軽減が図られるよう先進地の状況などを把握しながら、市の支援の在り方を含め研究します。

Q 様々な理由で地域クラブ活動に参加できない生徒はどのようになるのか。

A 今後、部活動の地域移行を進める中で、課題を一つ一つ解決しながら主役である中学生が希望する地域クラブ活動に参加できるように工夫を講じる必要があると考えます。

Q 地域クラブ活動となった場合のメリットは。

A 合同で大会に参加している選手同士が同じクラブの活動に参加すれば、連携

プレーの練習の機会が増えるなど技術の向上につながると思います。また、受け皿となるクラブの指導者は競技に精通された人となり、他校の選手との交流も含め競技力向上にもつながるものと思います。



子どもたちのためによりよい部活動の地域移行を



なるけ のぶよし
成毛 伸吉 議員

小中学校の英語教育の充実を

Q 香取市独自の特色ある英語指導はされているか。

A 教員研修の充実、ALTの資質向上、ICTの活用を主な柱とし、より楽し

く、より分かりやすい授業を実践し、充実した外国語活動の推進に努めます。

Q 全国学力学習状況調査の英語科の結果の推移は。

A 全国と比べて平成31年度がマイナス2ポイント、令和5年度がマイナス4.6ポイントであり、その差は開きました。なお、現在、香取市学力向上推進委員会を発足させて、読解力を中心に教科指導の底上げを計画しており、学力の向上を図ります。

意見 部活動地域移行は、全ての部活動が行ありきではなく色々な方向から考え子供達が行いたい事ができるそんな部活になることが大事だと考えます。

英語は全ての子がポテンシャルを持っています。まず市が目標を決め具体的な計画をたて一年毎に検証する。やる気を持ち進めていけば結果はついてくると考えます。このような事が実現すれば移住につながる手立ての一つになるのではないのでしょうか。

陳情審査報告

陳情第3号

「特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改正」を求める陳情

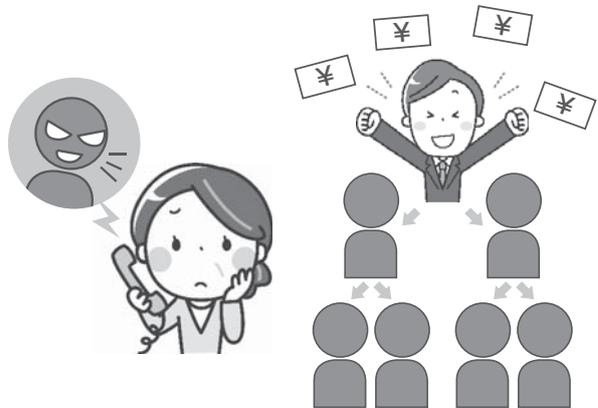
特定商取引法の平成28年改正の際、5年後見直しが定められ、令和4年に5年の経過を迎えた。高齢者や若者が悪質商法のターゲットにされないよう、これに対処するために、国に対し特定商取引法の改正を強く要望する。

採択しました

消費者に関する陳情を採択し、意見書を国へ提出

特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改正を求める意見書

特定商取引法の平成28年改正の際、いわゆる5年後見直しが定められ、令和4年12月に同改正法の施行から5年の経過を迎えました。令和4年版消費者白書によると、消費生活相談は85.2万件でここ15年ほど高止まりが続いており、特商法の対象分野の相談は全体の54.7%にのぼります。超高齢社会が進む中、高齢者が悪質商法のターゲットにされないよう早急な対応が必要です。また、令和4年4月の成年年齢の引き下げにより、18歳から19歳を狙ったマルチ被害の増加が予想されます。これらの被害に対処するために、国に対し、特定商取引法の改正を行うよう要望しました。



全国市町村 交流レガッタ

9月30日から10月1日まで、第32回全国市町村交流レガッタが、長野県下諏訪町の諏訪湖畔にある下諏訪ローイングパークで開催されました。議員の部へ参加した市議会のクルーは、市民レガッタのTシャツを身にまとい、果敢に挑戦しましたが、惜しくも予選突破とはなりませんでした。その後は、ともに出場した市民クルーの応援に精一杯声をからした結果、男子160歳未満の部の「KATORI F.D.」が見事に第3位、女子160歳以上の部の「FRESH COOL 美」が第5位の成績を収めました。参加クルーは雄大な諏訪湖畔で、全国から集まった皆さんと水上スポーツによる交流を深めました。



多くのボランティアに支えられた全国市町村交流レガッタ

活動レポート

総務政策常任委員会 行政視察

10月10日から11日まで京都府京丹後市、兵庫県養父（やぶ）市の行政視察を行いました。両市とも交通空白地の住民の移動をサポートするライドシェアの先進事例となっており、喫緊の課題である公共交通の利便性向上やドライバー不足への対応策などの説明を受けました。京丹後市では、NPO法人が運行主体となり、交通空白地有償運送として地元ドライバーがマイカーを使い乗客を運ぶ事業やUberを利用した配車などを学びました。また、養父市では、タクシーやバス会社や観光関連団体、地域自治組織などで組織されるNPO法人が運行主体となっている自家用有償観光旅客等運送事業や国家戦略特区を活用した交通政策などを学び、両市の事例は今後の政策にとっても参考になりました。



京丹後市の皆さんで運営するライドシェア



農業創生大学校事業等について説明を受ける委員（横手市）

生活経済建設常任委員会 行政視察

令和5年10月11日から12日まで、秋田県横手市「農業創生大学校事業」と「横手市増田重伝建地区」等の行政視察を行いました。

「農業創生大学校事業」は、横手市が収益性の高い野菜や、果樹作物を推進し、農業者の所得向上と担い手の育成・確保のため設置しました。様々な圃場や付随する設備があり、魅力ある施設でした。また、栽培実証を積極的に行い新たな収益作物の開発に取り組んでいました。

「横手市増田重伝建地区」は、江戸時代から発展した内蔵と呼ばれる独特な土蔵が観光資源として活用されています。内蔵は主屋の背面に建てられ土蔵そのものを上屋で覆っており、この独特の建築様式や豪華さには人の目を引く魅力がありました。

議会改革特別委員会 行政視察

令和5年10月31日から11月1日まで、香取市の友好都市である福島県喜多方市と会津若松市を訪問し、議会改革の取り組みについて行政視察を行いました。

「喜多方市議会」では、議会基本条例の制定までのプロセスや、タブレット端末導入後の議会運営の変化や経費削減を含めたメリット等について説明を受けました。

「会津若松市議会」では、通年議会導入の現状のほか、市内各地に議員が出向いて実施している議会報告会と、市政・議会運営に関する市民との意見交換会開催による、市民の反応や意見等を市政へ反映する取り組みの説明を受けました。

開かれた議会、議員活動の活性化を目指して議会改革に取り組む当議会にとって、大変有意義な研修を行うことができました。



議会改革の取り組みについて説明を受ける委員（喜多方市）

市議会議員の

香取市の情報を全国へ発信

— 行政視察の受け入れを行っています —

市議会では、全国の自治体議会からの行政視察を積極的に受け入れています。

個性あふれる地域力を生かしたまちづくりや特色ある施策等の紹介をはじめ、市内宿泊施設や商店等を利用いただき、全国へ市の魅力を発信する活動を行っています。



大きなハザードマップで水害対策の説明を受けた宮城県大崎市議会議員の皆さん（川の駅 水の郷さわら）

令和5年度 行政視察受け入れ状況(令和5年12月31日現在)

No	視察日	議会名(委員会・会派)	視察内容
1	令和5年8月3日	茨城県 常陸大宮市議会 経済建設常任委員会	道の駅・川の駅 水の郷さわらについて
2	令和5年8月9日	宮城県 大崎市議会 会派 NEXT	PFI事業による道の駅・川の駅整備事業について
3	令和5年8月22日	新潟県 村上市議会 会派 市声クラブ	佐原駅周辺地区活性化拠点整備事業について
4	令和5年10月5日	広島県 府中市議会 会派 市民クラブ	重要伝統的建造物群保存地区の取り組みについて 関連計画の概略と現状および重伝建地区との関係について
5	令和5年10月19日	香川県 坂出市議会 総務消防委員会	みんなの賑わい交流拠点コンパスについて
6	令和5年10月31日	岐阜県 羽島市議会 産業建設委員会	観光まちづくりについて
7	令和5年11月7日	愛知県 蒲安市議会 文教委員会	みんなの賑わい交流拠点コンパスについて



香取市地域公共交通計画に 対する申入れを提出

香取市議会総務政策常任委員会において、令和5年度「公共交通」を題材とした特定所管事務調査を開始し、執行部からの報告や先進地視察を実施し調査研究を進め、委員会で検討を重ねてまいりました。このほど取りまとめを行い、令和5年11月28日に執行部に対し、「香取市地域公共交通計画」に対する申入れを提出しました。

市長に公共交通に関する申入れを提出する
久保木清司総務政策常任委員長（左）



Vol.20

地域愛 それがYEG魂

～子どもたちの未来のために～

第39代佐原商工会議所青年部
会長

根本 ^{まさよし} 雅圭 さん (46歳)



本年度、佐原商工会議所青年部（佐原YEG）は、創立40周年を迎える運びとなりました。

40年という歳月は、多くの変革と挑戦があったことを物語っております。

私共、佐原YEGは、地域社会において地域の皆様と協力し、若い世代の活力と情熱を通じて地域の繁栄に寄与することを目標のひとつとして、努力して参りました。

40年間に渡り多くの挑戦や困難があった中で皆様のご協力とご支援によって、無事、記念式典を成し遂

げることができたことに深く感謝申し上げます。

私共、佐原YEGはこれからも地域社会と連携を深め、新たな挑戦に立ち向い、更なる発展や目標に向けて努力し続けます。地域の発展と青年たちの成長に貢献することが、私共の使命であり、これからもそのために全力を尽くしてまいります。

これからも佐原商工会議所青年部をご支援いただく地域の皆様に心より感謝申し上げますと共に、今後も一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

3月

市議会を見学しませんか？

定例会
の日程

議会は、どなたでも傍聴できます。開会日に直接、7階傍聴席入口までお越しください。

2/26(月)	本会議
3/ 6(水) 7(木) 8(金)	本会議(一般質問調整日)
11(月) 12(火) 13(水)	予算審査特別委員会
14(木) 15(金)	常任委員会
22(金)	本会議

※上記は予定であり、変更となる場合があります。
※請願・陳情の3月定例会での受け付けは、2月15日(木)午後4時までとなります。

傍聴およびライブ中継、録画再生件数



編集後記

新型コロナウイルスが、5類移行後の初めてのお正月。如何、お過ごしでしたでしょうか。多くのご家庭に笑顔が戻ったことを願います。若年層の多くが議会に興味を持たない状況が続いています。香取市を支える30代の議員として議会活動がより伝わる議会だよりを目指し精進して参ります。

(前田)

市議会をより詳しく知りたいときは

ご利用ください！

市議会会議録と議会中継

議会だよりは、要約表記で掲載しているため、詳しくは市議会ホームページや会議録をご覧ください。

香取市ホームページ <http://www.city.katori.lg.jp/>

香取市議会ホームページ <http://www.city.katori.lg.jp/gikai/>

会議録

会議録は、市議会ホームページ「会議録検索」から閲覧できます。9月定例会の会議録までご覧いただけます。

製本された会議録は
こちらで閲覧できます

- 市役所 ☎50-1217
1階 情報コーナー/6階 議会事務局
- 佐原中央図書館 ☎55-1343
- 小見川図書館 ☎80-0511

議会中継

定例会・臨時会のライブ中継は、市議会ホームページで視聴できます。録画映像は、おおむね1週間後から視聴可能です。

12月定例会のライブ中継視聴者数は**211人**、11月28日から12月31日までの録画再生件数は**394件**でした。